

“フツーの人”の まちづくりの学校in長崎2022

第1期受講生対象マイプランコンペ



審査結果発表



令和4年度に開催しました標記講座の受講生12名を対象とした「※マイプランコンペ」については、4名の受講生から応募があり、審査の結果、下記の2名の方がマイプランの実現に向けた県社協からの支援金を受けることが決定しました！

※マイプランとは・・・当講座では、受講生自身に取り組みたい課題やまちづくり（地域づくり）をマイプランという形で表現し、講座の最終回で報告会を実施します。講座中での講師陣との個別面談や受講生同士の意見交換、ゲスト講師（地域の活動家等）の実践報告などを通じて、新しいつながりや発想・生き方に刺激をもらい、自身の考えるマイプランをさらに“我がこと”へ転換し、より具体的な取り組みにつなげ、コミュニティワークの実践力（地域づくりに向けた支援力）の強化を図ります。



平畑 隆寛 さん（長崎市岩屋地域包括支援センター 社会福祉士）

プランタイトル：「地域住民がエンパワメントできるWebライターのさるく記
～Webライターの社会福祉士が、あなたの街の広告塔になります～」

プラン概要：長崎県内の高齢者サロンへ直接取材し、Webページ（主にブログ）で発信します。単にサロンの概要紹介ではなく、先駆的な取り組み・参加者構成・地域課題などを、月1～2記事を目安に投稿します。また地域包括支援センターでの経験を生かし、将来的には管轄の包括や社協とともに、地域住民または専門職向けにワークショップの企画・開催にも取り組みます。



久保田 渚紗 さん（波佐見町地域包括支援センター 社会福祉士）

プランタイトル：「ゴミ拾い散歩♪ ～ゴミ拾いと散歩で繋ぐ、地域共生社会～」

プラン概要：こどもたち、その保護者、認知症の当事者や障害を持った方と一緒に、散歩をしながら町のゴミ拾いをする。最後に拾ったゴミの重さを計り、重さに応じてお菓子やジュース、ビールなどをプレゼント♪
ただ歩くだけでなく、宝物探しのようにゴミを探しながら歩くのは楽しいもの。いろいろなゴミが捨てられていることを実感することで、自然とゴミ捨てのマナーや環境美化への意識が醸成できる。また、認知症の人や障害をもった方と一緒に楽しく活動することで、偏見をなくし共に生きる楽しさを体感できる。当事者の方はスタッフ側でお世話係として活躍してもらおう。